

自分たちの手で快適な学校を

城南中でリサイクルバザー

新宮市

高塚生徒会長は「準備などに時間がかかり大変

だと感じた」と苦勞を口にしながらも「自分たちの手で生徒たちの要望を一つでもかなえることができれば、こういう機会に参加できてうれしい」。高塚育友会長は制服などの提供者や協力者に感謝を述べ「売り上げは全て生徒会費となります。要望を形にし、学校生活を少しでも楽しく快適に過ごしてほしい」と話していた。(西久保勢津子)

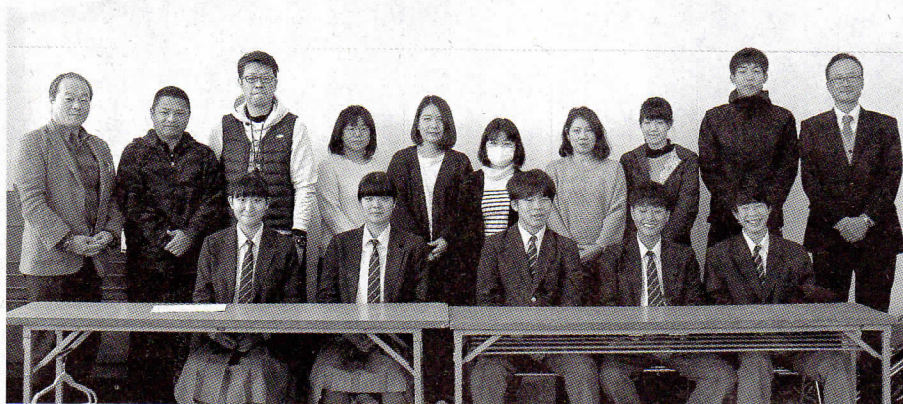
新宮市立城南中学校育友会(高塚高子会長)と生徒会(高塚恒輝会長)は15日、同校で「リサイクルバザー」を共催した。大勢が来場し、格安で販売される制服や体操服などを買い求めた。

育友会が主催していたバザーで、生徒会が参加するのは昨年に引き続き2回目。生徒たちの要望をかなえるための生徒会費を自分たちの手で、との生徒会の思いから始まった。

在校生や卒業生らに呼び掛けて、ブレザーやスカート、体操服、シャツなど100点余りが集まり、それぞれ10～500円で販売された。



制服などを買い求める来場者ら
15日、新宮市立城南中学校



バザーに参加した皆さん